

相扶會規則

第一條 本會ハ相扶會ト稱ス
 第二條 本會ハ日本樂器製造株式會社内ニ設置ス
 第三條 本會ハ會員相互ノ不時ノ災害ノ幾分ヲ救助シ交誼ヲ親密ニスルヲ以テ目的トス
 第四條 本會ハ日本樂器製造株式會社在勤ノ従業員(社員准社員見習生ヲ除ク)ヲ以テ組織シ入社ト同時ニ會員タルノ義務ヲ有シ退社當日退會者ト見做シテ處理ス
 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 (イ) 評議員若干名
 各部ニ於テ貳名以上トシ内壹名ハ其部工場世話係中ヨリ推薦シ他ノ壹名ハ會員ノ選舉ヲ以テ之レヲ定ム
 但會員百人以上ノ部ニ於テハ右貳名ノ外超過人員百人毎ニ壹名宛ノ割合ヲ以テ増員選出ス
 (ロ) 理事若干名
 評議會ノ互選ニ依リ各部壹名宛トス
 (ハ) 監事若干名
 評議員以外ノ本會員中ヨリ各部壹名宛選任ス
 前各項ノ役員選舉ハ各部毎ニ投票ヲ以テ之ヲ行ヒ投票ハ無記名式トス
 役員ハ無報酬トシ退社病氣其他止ムヲ得サル場合ノ外辭任スルコトヲ得ス
 評議員ハ本會ニ關スル重要事項ヲ評議シ其決議ヲ會社ニ申請ス
 評議員ノ任期ハ壹ケ年トス
 理事ハ會務ノ處理ニ任ス
 理事ノ任期ハ壹ケ年トシ缺員ヲ生ジタルトキハ補缺選舉ヲ行フモノトス
 理事ノ互選ニ依リ常務理事參名ヲ置キ日常ノ會務處辨ニ任ス
 常務理事ノ任期ハ六ケ月トシ(二月ヨリ七月マデ又ハ)引續重任セサルモノトス
 監事ハ會務及出納ノ調査ニ任ス
 監事ノ任期ハ壹ケ年トス
 役員會ハ定時トシテ毎年一月及七月ニ開會シ支配人、工場長、庶務課長若シクハ其代理者ノ列席ヲ求メ主要會務ノ評議決定ヲナスモノトス
 會費ハ毎月金貳拾錢(滿十五歳未滿ハ半額)トシ毎給料中ヨリ納入スルモノトス
 會費領收ニ對シテハ領收證ヲ出サス給料支拂計算書ニ記載シ領收ノ證トス
 第十四條 會務報告ハ毎年評議員ヨリ會員ニ報告ス
 第十五條 每期計算ノ上殘餘金ハ後期繰越金トス
 但毎期末計算ノ上不足アルトキハ評議員會ニ於テ之カ處理ヲナスモノトス
 第十六條 退會者ニ對シテハ一切積金ノ拂戻ヲナサ、ルモノトス
 第十七條 左ノ各項ニ該當スル場合ニハ下記ノ金額ヲ支出ス
 一、病氣又ハ公傷ノ爲メ二週間以上ノ缺勤者ニ對シ見舞金
 拾五圓
 更ニ引續キ二週間以上同
 拾五圓
 二、在社四ケ年以上ニシテ願ニ依リ解僱セラレタル者ニ對シ
 慰勞金 一ケ年毎ニ
 貳圓
 三、會員死亡ニ對シ香料
 貳圓
 四、支店、分工場等轉勤者へ餞別
 貳圓
 五、入營者餞別
 貳圓

第十八條 其他必要ト認ムル支出ニ就テハ理事又ハ評議員會ニ於テ之ヲ決ス
 第十九條 會員ニシテ病氣又ハ負傷ノ爲缺勤スルトキハ每週病狀ノ經過ヲ評議員會へ書面ヲ以テ届出ツヘシ
 第二十條 會員ニシテ病氣又ハ負傷ノ爲六十日以上缺勤シタルトキハ理事其住居ヲ訪問シテ病狀ヲ調査シ其旨常務理事ニ報告シ常務理事ハ之ヲ評議員會ニ圖リ必要ト認メタル場合ニハ第十七條第一項ノ外見舞金額ヲ決定シ贈與ノ手續ヲナスコトアルヘシ
 但右ニ付濱松市外へ出張ハ旅費實費ヲ給ス
 第二十一條 會社ニ於テハ常務理事ノ申請ニ依リ金錢ノ出納ヲ掌リ會務ノ進行ヲ補助ス
 第二十二條 本規則ノ改正ハ理事及監事署名捺印ノ上之レヲ社長ニ申請シ其承認ヲ經テ施行ス
 ルモノトス

◎本規則ノ部別表左ノ如シ

第一作業部	第二作業部	第三作業部	部
木工部	木工部	木工部	部
アクシヨン部	ハーモニカ部	飛行機部	部
木材部	ベニヤ部	木取部	部
		鐵工部	部
		總務部	部
		原料部	部

日本樂器製造株式會社内

相扶會

大正十一年七月十九日評議員會ノ決議ニヨリ改正大正十一年八月一日ヨリ施行ス
 大正十四年七月廿四日評議員會ノ決議ニヨリ改正大正十四年八月一日ヨリ施行ス
 大正十五年六月廿八日評議員會ノ決議ニヨリ改正大正十五年七月一日ヨリ施行ス